

令和8年度版 指定介護予防支援 重要事項説明書

1. 事業者（法人）

事業者の名称	社会医療法人栗山会
事業者の所在地	長野県飯田市大通1丁目15番地
法人種別	社会医療法人
代表者氏名	千葉 隆一
電話番号	0265-22-5150

2. 運営の目的と方針

要支援状態にあるご利用者に対し、公正・中立かつ適切な指定介護予防支援を提供することを目的とします。その実施に際しては、ご利用者の居宅を訪問し、利用者の有する能力やおかれている環境等の課題分析を通じて、自立した日常生活を営むことが出来るように「介護予防サービス計画」等の作成及び変更を行います。

また、提供を受けている指定介護予防支援サービス、関係市町村や地域包括支援センター及び地域の保健・医療・福祉サービス、指定特定相談支援事業者、住民による自発的な活動によるサービス等と綿密な連携及び連絡調整を行い、サービス担当者会議の開催等を通じて実施状況の把握に努めます。

3. 概要

(1) 居宅介護支援事業所の指定番号及びサービス提供地域

事業所名	居宅介護支援飯田病院
所在地	長野県飯田市大通1丁目30番地2
介護保険指定番号	2070501982
サービス提供地域	飯田市 下伊那郡

(2) 当法人の併せて実施する事業

種類	事業所名	事業所指定番号
居宅療養管理指導	社会医療法人栗山会飯田病院	2010517064
居宅療養管理指導	飯田病院附属阿智診療所	2012517450
居宅療養管理指導	飯田病院附属仲ノ町診療所	2010517726
訪問リハビリテーション	飯田病院附属仲ノ町診療所	2010517726

種 類	事業所名	事業所指定番号
通所リハビリテーション	介護老人保健施設 アップルハイツ飯田	2050580014
通所リハビリテーション	飯田病院附属仲ノ町診療所 通所リハビリテーション 丘の上	2010517726
訪問介護	飯田病院ヘルパーステーション すずらん	2070500521
介護保険施設	介護老人保健施設 アップルハイツ飯田	2050580014
短期入所療養介護	介護老人保健施設 アップルハイツ飯田	2050580014
居宅介護支援	居宅介護支援飯田病院	2070501982

(3)職員体制

従業員の職種	業務内容	人 数
管 理 者	事業所の運営及び業務全般の管理	1人以上
主任介護支援専門員	居宅介護支援サービス等に係わる業務	2人以上
介護支援専門員	居宅介護支援サービス等に係わる業務	3人以上

(4)勤務体制

(月)~(土)	8時30分～17時30分 原則として、日・祝祭日、8月14日～16日及び年末年始を除く
緊急連絡先	担当介護支援専門員緊急連絡先 24時間体制にて受付

(5)介護予防支援の実施概要

事 項	備 考
介護予防サービス 計画作成の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・指定介護予防支援の提供の開始に際し、ご利用者の居宅を訪問し、ご利用者及びご家族に面接して情報を収集し、把握した解決すべき課題に基づいて介護予防サービス計画の原案を作成します。 ・介護予防サービス計画の作成に際し、ご利用者が置かれている環境等を把握したうえで以下に掲げる領域ごとに日常生活の状況を把握し、ご利用者が抱える課題を明らかにするとともに、ご利用者が自立した日常生活を営むことができるように支援すべき課題を把握します。 <ul style="list-style-type: none"> (1)運動及び移動 (2)家庭生活を含み日常生活 (3)社会参加及び対人関係並びにコミュニケーション (4)健康管理 ・指定介護予防支援の提供の開始に際し、ご利用者は、複数の指定介護予防サービス事業者等を紹介するように求めることができます。また、介護予防サービス計画に位置付けた指定介護予防サービス事業所等の選定理由の説明を求めることができます。 ・介護予防サービス計画の原案に位置付けた指定介護予防サービス等について、指定介護予防サービス等の担当者からなるサービス担当者会議を開催し、またはやむをえない事由で開催ができない場合には照会等により、当該介護予防サービス計画の原案の内容について、専門的な見地からの意見を求め、ご利用者及び当該サービス担当者との合意を図ります。 ・介護予防サービス計画の原案に位置づけた指定介護予防サービス等について、保険給付の対象となるか否かを区分した上で、その種類、内容、利用料等についてご利用者及びそのご家族に説明し、同意を得たうえで交付します。
経過観察・再評価	<ul style="list-style-type: none"> ・担当の介護支援専門員は介護予防サービス計画作成後、三月に一回は利用者及びその家族に面接しサービスの実施状況を把握するとともに、少なくとも一月に一回、指定介護予防サービス事業所等と連絡し、経過の把握に努めます。 ・介護予防サービス計画の目標に沿ってサービスが提供されるよう指定介護予防サービス事業者等との連絡調整を毎月行います。 ・ご利用者の状態について定期的に再評価を行い、状態の変化等に応じて介護予防サービス計画変更の支援、要支援認定区分変更申請の支援等の必要な対応をします。
利用料金	<p>指定介護予防支援の実施に際しての利用料金は「別紙1」の通りです。 但し、厚生労働省が定める介護報酬については原則としてご利用者負担はありません。</p>
研修の参加	<p>現任研修等、資質向上のため必要な研修に計画的に参加します。</p>
担当者の変更	<p>担当の介護支援専門員の変更を希望する際は対応可能です。</p>

4. 利用者からの相談または苦情に対応する窓口

(1) 当事業所相談窓口

相談窓口	居宅介護支援飯田病院
担当者	管理者 福岡 隆子
電話番号	0265-22-5150
対応時間	8時30分～17時30分 原則として、日・祝祭日、8月14日～16日及び年末年始を除く

(2) 円滑かつ迅速に苦情処理を行う対応方針等

指定介護予防支援の実施において苦情があった場合は、苦情受付担当者が苦情主訴者から詳しい事情を聞くとともに、担当介護支援専門員に事情を確認します。また、苦情受付担当者が必要と判断した場合は、管理者等を含み検討会議を実施し、検討の結果及び具体的な回答を直ちに苦情主訴者に伝え、納得を得られるよう努めます。

(3) 指定介護予防サービス事業者等に対する苦情対応方針等

指定介護予防サービス事業者等に対する苦情が指定介護予防支援事業所にあった場合は、苦情内容を正確に確認するとともに、その苦情の真の原因を突き止め、改善に向けた対応がなされるよう、指定介護予防サービス事業者等との十分な話し合い等を実施し、その改善策を指定介護予防サービス事業者等から苦情主訴者に報告するように対応します。また、その後も必要に応じ指定介護予防サービス事業者等を訪問し、よりよいサービス提供が図れるよう努めます。

(4) 苦情申立機関が下記のとおり設置されております

外部苦情相談窓口

飯田市役所 長寿支援課	電話番号	0265-22-4511
	所在地	飯田市大久保町 2534
市町村 地域包括支援センター	電話番号	各市町村・包括支援センター
	所在地	各市町村・包括支援センター
長野県国民健康保険団体連合会 介護保険課 苦情相談窓口	電話番号	026-238-1580
	所在地	長野市大字西長野宇加茂北 143 番地 8

5. 事故発生時の対応

事業者の過誤及び過失の有無に関らず、サービス提供の過程において発生した、ご利用者の身体的または精神的な通常と異なる状態についてサービス事業者から連絡があった場合は、下記のとおりに対応を致します。

①事故発生時の報告

事故によりご利用者の状態に影響する可能性がある場合は、速やかに市町村（保険者）に報告します。

②処理経過及び再発防止策の報告

①の事故報告を行った場合は、処理経過、事故発生の原因及び再発防止策を明確にし、ご利用者および市町村（保険者）に報告します。なお、軽微な事故であってもその事故についての検証を行い、再発防止に努めます。

6. 緊急時の対応方法

サービス事業者からご利用者の身体状況の急変等、緊急の連絡があった場合には、予め確認している連絡先及び医療機関に連絡を行い適切に対応します。

7. 主治の医師及び医療機関等との連絡

ご利用者の主治の医師及び関係医療機関との間において、ご利用者の疾患に関する情報について必要に応じ連絡をとらせていただきます。そのことで、ご利用者の疾患を踏まえた支援を円滑に行うことを目的とします。この目的を果たすために以下の対応をお願いします。

①ご利用者の不測の入院時に備え、担当の居宅介護支援事業所が医療機関に伝わるよう、入院時に持参する医療保険証またはお薬手帳等に、当事業所名及び担当の介護支援専門員がわかるよう、名刺を張り付ける等の対応をお願いいたします。

②また、入院時には、ご利用者またはご家族から、当事業所名及び担当介護支援専門員の名称を伝えていただきますようお願いいたします。

8. 各種会議等

ご利用者等が参加して実施する会議、または定期的な訪問について、ご利用者等の同意を得た上で、テレビ電話装置等を活用して実施する場合があります。

9. 秘密の保持

①介護支援専門員及び事業者に所属する者は、サービス提供する上で知り得たご利用者及びご家族に関する秘密を、正当な理由なく第三者に漏らしません。この守秘義務は契約終了後も継続します。

②利用者及びご家族から予め文書で同意を得ない限り、サービス担当者会議等においてご利用者及びご家族の個人情報を用いません。

10. 業務継続計画の策定

事業所は、感染症や自然災害の発生時において、ご利用者に対する指定居宅介護支援事業の提供を継続的に実施するため及び非常時の体制での早期の業務再開を図るための計画を策定し、当該業務継続計画に従い必要な措置を講じます。

また、介護支援専門員に対し、業務継続計画について周知するとともに、必要な研修及び訓練を定期的に実施します。

定期的に業務継続計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行います。

- ①地震土砂災害等で各自治体より「避難準備・高齢者等避難開始」が発令された場合は、身を守る準備を行い避難所へ避難する判断をして下さい。
- ②なお、道路・河川の状況により、移動手段等の方法が確保できない可能性があるため、警戒レベル3相当が発令された場合は、原則訪問できない可能性があります。
- ③また、災害時の備えとして、緊急連絡先、地域の防災情報、避難所の把握等のご協力をお願いします。

11. 感染症の予防及びまん延の防止のための措置

指定介護予防支援事業所は、感染症が発生した際の予防、またはまん延防止のために、次の各号に掲げる措置を講じます。

- ① 感染症の予防及びまん延防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする）をおおむね6月に1回以上開催します。その結果を、介護支援専門員に周知徹底します。
- ② 感染症の予防及びまん延防止のための指針を整備します。
- ③ 介護支援専門員に対し、感染症の予防及びまん延防止のための研修及び訓練を定期的に実施します。

12. 虐待の防止

事業所は、虐待の発生またはその再発を防止するため、次の各号に掲げる措置を講じます。

- ①事業所における虐待防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする）を定期的に開催するとともに、その結果について介護支援専門員に周知徹底を図ります。
- ②事業所における虐待防止のための指針を整備します。
- ③介護支援専門員に対し、虐待防止のための研修を定期的に実施します。
- ④虐待防止の措置を講じるための担当者を配置します。

虐待防止に関する担当者	管理者 福岡 隆子
-------------	-----------

13. ハラスメント

①事業所は、職場におけるハラスメント防止に取り組み、職員が働きやすい環境づくりを目指します。

②禁止行為

- ・職員に対する身体的暴力（身体的な力を使って危害を及ぼす行為）
- ・職員に対する精神的暴力（人の尊厳や人格を言葉や態度によって傷つけたり、おとしめたりする行為）
- ・職員に対するセクシュアルハラスメント（意に添わない性的誘いかけ、好意的態度の要求等、性的ないやがらせ行為）

当事業者は、指定介護予防支援の提供にあたりご利用者に上記のとおり重要事項を説明しました。この証として本書2通を作成し、ご利用者、事業者が署名・押印の上、各自1通を保有するものとします。

令和 年 月 日

指定介護予防支援の提供に際し、本書面の重要事項の説明を行いました。

事業者名 居宅介護支援飯田病院

所在地 長野県飯田市大通1丁目30番地2

管理者 福岡 隆子

説明者 _____

令和 年 月 日

私は本書面に基づいて事業者から重要事項の説明を受け、指定介護予防支援の提供開始に同意しました。

(ご利用者)

住 所 _____

氏 名 _____ 印

(代理人)

住 所 _____

氏 名 _____

(続柄: _____)

別紙1

利用料金及び介護予防支援費
指定介護予防支援費（月一回算定）

介護予防支援（Ⅱ）	指定介護予防支援事業者	472 単位
-----------	-------------	--------

利用料金及び介護予防支援費[減算]

高齢者虐待防止措置未実施減算	厚生労働大臣が定める高齢者虐待防止のための基準を満たさない場合	所定単位数の100分の1に相当する単位数を減算
業務継続計画未策定減算	業務継続計画を策定していない場合	所定単位数の100分の1に相当する単位数を減算 (令和7年4月以降)

介護職員等処遇改善加算

算定要件（いずれか）		
①	ケアプランデータ連携システムを利用している又は実績報告書の提出までに利用する見込みがあること	1月の総利用単位数の2.1%
②	処遇改善加算Ⅳの取得に準ずる要件（キャリアパス要件Ⅰ・Ⅱ及び職場環境等要件）を満たしていること	

加算について

初回加算	新規として取り扱われる計画を作成した場合	300 単位
------	----------------------	--------